

スクリーン ミニレポ

本誌は、当社の最新のニュースと事業活動をお知らせする月刊情報誌です。

目次

- ・「GTRAX(ジートラックス)」の実用化トライアル開始
- ・「IGAS99」に40機種を展示 ~「デジタル・新次元」をテーマに~
- ・「日本マニュアルコンテスト99」で入賞
- ・1999 アニュアルレポートを発行
- ・超高速で片面2色、A2ワイドサイズの印刷が可能 ~ デジタル印刷機を共同開発
- ・8インチ対応コーター/デベロッパーを実機展示 ~ 「Semicon West 99」
- ・エコノミータイプのウエハー膜厚測定装置を発売
- ・B2サイズ対応のサーマルプレートレコーダー「PlateRite4000」を発売

「GTRAX(ジートラックス)」の実用化トライアル開始(8月31日付け発表)

大日本スクリーン、富士写真フィルム、NTTコミュニケーションズの3社は高速ネットワーク上で運用する、印刷製版・広告・出版業界向けの通信アプリケーション「GTRAX(ジートラックス)」¹を共同開発し、トライアルを9月1日から開始しました。

これは、最大每秒数メガビットの通信が可能なネットワークを通じて、クライアント・デザイン会社・製版・印刷会社間が大容量の印刷データを距離や時間に制

約されることなく交換しあうもの。印刷物制作の企画から印刷・出版までの全工程を同時に、かつ並列に進行できるように、進行状況や決定事項を全工程の作業者が把握することで、制作期間の大幅な短縮、コストの削減が期待できます。大日本スクリーンと富士フィルムが提携することにより業界に最適なシステムが提供でき、NTTコミュニケーションズと提携することにより全国110カ所にわたるアクセスポイントを利用して効率的で安全なデータ配信が提供できます。

* 1 「GTRAX」は現在3社で共同出願中の商標

「IGAS99」に40機種を展示 ~「デジタル・新次元」をテーマに~ (8月25日付け発表)

当社は9月20日~24日、有明・東京ビッグサイトで開催される第16回国際グラフィックアーツ総合機材展「IGAS99」に、新製品を中心とした40機種を超える製品を出展します。

テーマは「デジタル・新次元」。これは、さまざまな出力形態への対応、ニュービジネスの提案などデジタルデータを積極的に活用していくビジネス変革の世界を意味したものです。CTPやネットワークなど最新のソリューションを紹介する7ゾーンを設け、工程の合理化やデータの共有

化を推進してきたデジタルワークフロー構築のステージから、さらに一歩進んだ世界へのご案内します。デジタルプレス

の新しいラインアップ、大容量画像伝送アプリケーション、「千都フォントライブラリー」の新作フォント、新世代型RIPなどの新製品を発表します。

入場券がございますので、ご希望の方はE-mail: company@screen.co.jp までご連絡ください。



当社ブースのイメージ

「日本マニュアルコンテスト99」で入賞

9月2日、当社グループ会社でマニュアル・ドキュメント制作会社の(株)テックコミュニケーションズが「日本マニュアルコンテスト99」において、業務用/産業用機器その他の部門で部門優秀賞を受賞しました。国内マニュアル業界で権威を持つテクニカルコミュニケーション協会とSTC東京支部が共催する同コンテストには、紙マニュアル67点、電子マニュアル5点が応募。受賞の対象となったニッタ(株)様の製品添付用マニュアル「I-SCAN(圧力分布測定システム)」はデザイン性だけでなく、

少部数の業務用マニュアルにカラーオンデマンド印刷を初めて活用したことが評価されました。



今回の受賞は同社初

1999アニュアルレポートを発行

1999年3月期の連結決算をまとめた年次報告書「アニュアルレポート1999」(英和)を発行しました。ご希望の方はE-mail: company@screen.co.jp までご連絡ください。



アニュアルレポート1999

超高速で片面2色、A2ワイドサイズの印刷が可能～デジタル印刷機を共同開発(9月8日付け発表)

当社と(株)桜井グラフィックシステムズは、デジタル印刷機「TruePress(トゥループレス)742」を共同開発しました。これは、高い印刷品質、1時間あたり8000枚(2色片面刷り)の印刷能力を実現。特に瞬発力が要求される少部数や短納期の印刷ニーズに即応します。今年1月から販売している「TruePress544」で実績とノウハウを積み上げてきた当社がコントローラRIPおよびプレートメーキング・印刷機構を、独創的な印刷機製

造技術で定評のある桜井グラフィックシステムズが給排紙・高速紙送りを含むベース部分の機構を開発。今回発表した2色機を基本として4色機や6色機への展開も計画しています。



共同開発記者発表

8インチ対応コーター/デベロッパーを実機展示～「Semicon West 99」

当社は、半導体製造装置・材料の米国最大規模の展示会「Semicon West 99(サンフランシスコとサンノゼの2カ所に分れて開催)」に出展しました。

移動体通信や自動車などのパソコン以外のマーケットからのデバイス需要の拡大や、インターネット環境改善のための高速マイクロプロセッサの開発、コストダウンを目的とした300ミリウエハーの本格導入などの動きにより、米国の半導体市場は急ピッチで回復しています。この

ような中、当社は300ミリ対応の洗浄装置「FC-3000」、コーター/デベロッパー「SK-3000」を紹介し、8インチ対応の次世代コーター/デベロッパー「SK-2000」の実機を展示。多くのお客さまから注目を浴び、活発な商談が展開されました。



エコノミータイプのウエハー膜厚測定装置を発売(7月21日付け発表)

当社は、WindowsNTを採用し、操作が簡単になった光干渉式膜厚測定装置ラムダエース「VM-1000」を7月21日から販売しました。

この装置は、非接触、非破壊で高速・高精度に測定できるラムダエースVMシリーズのエコノミータイプ。優れた測定精度・再現性など好評を博している機能を継承

し、操作性がさらに向上しています。販売価格は720万円(消費税別)。年間販売台数は20台。



エコノミータイプのラムダエース「VM-1000」

B2サイズ対応のサーマルプレートレコーダー「PlateRite4000」を発売(8月18日付け発表)

当社は、デジタルデータをレーザーで刷版に直接出力するサーマルプレートレコーダー「PlateRite4000(プレートライト4000)」を開発、10月に発売します。

この製品は昨年12月の発売以来、国内外で好評を得ている「PlateRite8000」の機能を継承。特に稼働率の高い菊半サイズ(636ミリ×469ミリ)印刷機に対応したも

のです。サーマルプレート(赤外線感材)の使用による印刷の品質向上、製版作業環境の改善が可能であるほか、1時間あたり16枚という高生産性を実現しています。



販売価格(消費税別)は2,050万円、年間販売予定台数300台



by MIXA IMAGE LIBRARY

スクリーンミニレポ No. 211
1999年9月16日発行

大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585
京都市上京区堀川通り寺之内上ル4丁目
Tel 075-414-7131

Fax 075-431-6500

発行人：広報室 齋藤牧夫

